

第2回 森の“聞き書き甲子園”の開催

- FOXFIRE IN JAPAN -

[ここをクリック](#)

主催

森の“聞き書き甲子園”実行委員会

構成：林野庁、文部科学省、(社)国土緑化推進機構、NPO法人樹木・環境ネットワーク協会

目的

- 都市と山村との世代を越えた交流を促進し、失われようとしている山の暮らしや埋もれかけている生業・技に光をあてることにより、
- ◆ 森を護り、育て、その恵みを活かして持続的に循環させていくことの大切さを社会一般へアピールする
 - ◆ 自ら課題を見つけ、学び、考える力を持った若者を育てる
 - ◆ 疲弊しつつある山村地域に活力を与える

内容

全国から募集した高校生100人が、専門家による指導を受けた後、『森の名手・名人100人』を直に訪れ、名人の技や人となりを『聞き書き』し、その成果(レポート)を広く発信する。

聞き書き：取材・インタビューによって人の話を聞き文字にして記録する手法

FOXFIRE BOOK：1966年、アメリカ合衆国ジョージア州の高校生が、伝統的な技術・知恵を伝承しながら生きている人たちのところに行き、そこで見た見聞をまとめたレポートのこと。なお、FOXFIREとは、枯れ木に生える苔が発する燐光の

ことを指し、かの地では「自然という教師が人間に与え続けている知恵の象徴」と考えられてきた。

森の名手・名人：木こり、マタギ、炭焼きなど森に関わる生業や地域生活に染み込んだ営みのうち、優れた技をもってその業を極め、他の模範となっている達人のことをいい、(社)国土緑化推進機構が選定するもの。

「聞き書き」研修(9月13～15日)



「聞き書き」取材・レポートの作成(10月～1月)



公開フォーラム(3月)



第2回 森の“聞き書き甲子園”は、昨年11月に、(社)国土緑化推進機構がスタートした「もりのくに・にっぽん運動」の関連プロジェクトとして実施するものです。

問い合わせ先

林野庁 森林保全課 内田、善行 03-3501-3843

文部科学省 生涯学習推進課 日向、大坂 03-3581-4099